

株主各位

株主様による臨時株主総会の 付議議案に対する当社意見及び 当社経営に関するご報告

拝啓 株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、適時開示をさせていただきましたとおり、当社株主様である上田和彦氏、東拓観光有限会社及びロイヤル観光有限会社（以下「当該株主様」という）による当社臨時株主総会の開催が決定しております。

その臨時株主総会では、以下の2つの議案が付議される予定です。

- 第1号議案 取締役小松裕介氏、同浅利睦男氏及び同高木章氏の解任の件
- 第2号議案 取締役6名選任の件

当社は、上記の2つの議案に反対いたします。

先般より当該株主様が主張する内容は、誤った事実認識に基づくものです。そのため、当該株主様がご提案する「取締役の交代の議案」は妥当性を欠くものと考えます。

現任取締役である小松裕介氏、浅利睦男氏及び高木章氏は、忠実義務を履行し、企業価値の向上に最善を尽くしており、実際に経営成果も現れております。

その結果、平成26年3月期決算では売上高21億41百万円、営業利益24百万円、経常利益64百万円、当期純利益93百万円となり、13年ぶりの2期連続営業利益の黒字化及び3期連続当期純利益の黒字化を達成いたしました。

さらには当期である平成27年3月期においても、入園料金の改定（値上げ）や伊豆シャボテン公園の新施設「カピバラ虹の広場」、伊豆ぐらんぱる公園の新施設「ジップライン～風KAZE～」の集客効果などにより、前年同月比で売上高、入園者数及び客単価は一貫して増加しており、今期業績も順調に推移することが見込まれます。

そもそも、当該株主様のうちロイヤル観光有限会社の取締役が“実質的なオーナー”である株式会社ケプラムが、伊豆シャボテン公園等の不動産への競売申立てを行い、当社の企業価値及び株主価値を毀損しています。他方、その後、当該株主様のうちロイヤル観光有限会社及び東拓観光有限会社は、当社株式を買い進め、当社の経営権を奪取することを画策しています。当社は、当該株主様のこの一連の行為を不当だと考えています。

そのためこの一連の行為に鑑みて、当該株主様が提案する取締役候補者は、引き続き当該株主様の影響を受ける可能性が否定できないと考えます。

当社の取締役は、当社及び当社の株主全体の共同の利益を最大化する責務を負います。

現任取締役は、社歴が長く、当社が展開する事業や社内体制を熟知しており、昨今では「伊豆半島最大のテーマパークづくり」や「年間入園者数200万人」を目標に様々な経営改革を行い、構造的赤字から脱却して黒字体質にするなど実績を出してきております。

また、今後とも、短期的のみならず中長期的な視野に立って、企業価値の向上について最善を努め、株主全体の共同の利益に寄与することが可能であると考えております。

以上のことから、当社は、当該株主様がご提案する「取締役の交代の議案」に反対いたします。

敬具

平成26年11月吉日

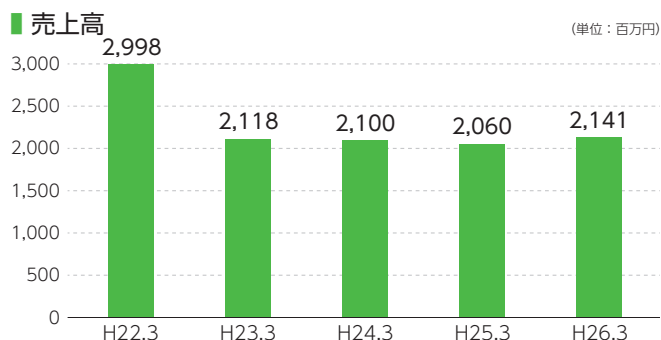
ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社

代表取締役社長 小松裕介

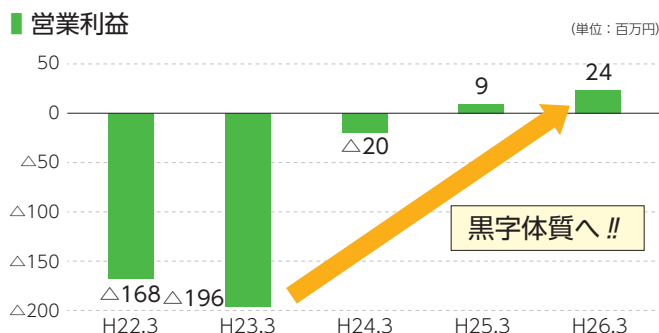


連結決算ハイライト

連結売上高の推移



連結営業利益の推移



- ①「選択と集中」によりレジャー事業を主力とした事業ポートフォリオへの組み替えを図った結果、売上高は減少
 ②さらなる経営効率化を図りレジャー事業の経営改革を実施した結果、平成26年3月期決算は13年ぶりの2期連続営業利益の黒字化及び3期連続当期純利益の黒字化を達成！

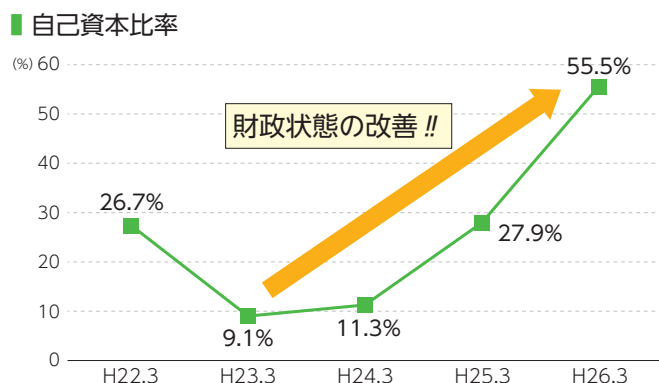
財政状態の推移

(単位: 百万円)

	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期
総資産	1,373	1,051	1,140	1,070	1,177
資産					
流動資産	428	202	296	246	323
固定資産	944	848	843	823	853
負債・資本					
流動負債	697	692	795	564	350
固定負債	278	228	216	206	173
純資産	397	131	129	298	653
自己資本比率 (%)	26.7	9.1	11.3	27.9	55.5

※平成26年3月期において、第三者割当による新株式（払込み総額265百万円、資本組入額の総額132百万円）を発行しております。

自己資本比率の推移



純資産が増加し自己資本比率が50%を超えたことで財政状態が改善

レジャー事業における経営改革

経営戦略の全面的な見直し

- マーケティング戦略の見直し
- オペレーションの改善
- 月次決算の実施、内部監査室の設置など内部管理体制の強化

山手スピチュアルホテルの閉館

- 静岡県伊豆市にある山手スピチュアルホテルを平成22年9月30日に閉館し、静岡県伊東市で展開する公園事業に経営資源を集中

CLOSE
UP!

伊豆シャボテン公園 「元祖カピバラの露天風呂」

伊豆の有名な温泉地の源泉を用いた「カピバラの温泉」、長崎バイオパークとの「カピバラの露天風呂協定」調印などイベントを多数開催。積極的なPR活動の結果、テレビや新聞など主要メディアで全国ニュースとなり、大幅な入園者数増を達成！



全般的な経費削減

- 人間国宝美術館の閉館
- 費用対効果の合わない広告宣伝費の削減
- 外注業者の選別
- パークキャスト業務の内製化
- 業務効率化によるシフトの見直し並びにパート・アルバイトの労務管理の徹底
- 飼育費の経費見直し

平成27年3月期第2四半期(平成26年4月～9月)の経営報告について

株主の皆様に対して、よりタイムリーな情報開示を行うため、平成27年3月期7月度より伊豆シャボテン公園グループの売上高、入園者数及び客単価の月次業績の公表を開始いたしました。

●平成27年3月期の伊豆シャボテン公園グループの月次業績

	平成26年 4月	平成26年 5月	平成26年 6月	第1四半期	平成26年 7月	平成26年 8月	平成26年 9月	第2四半期
売上高(千円)	164,429	227,649	121,902	513,981	184,465	464,103	190,787	839,355
(前年比)	116%	118%	115%	116%	116%	121%	125%	121%
入園者数(人)	101,682	130,962	78,944	311,588	109,475	270,049	112,442	491,966
(前年比)	111%	111%	107%	110%	107%	111%	112%	110%
客単価(円)	1,617	1,738	1,544	1,650	1,685	1,719	1,697	1,706
(前年比)	104%	106%	107%	106%	109%	109%	111%	109%

※月次業績につきましては、公認会計士または監査法人による関与を受けておりませんので、四半期・本決算の数値とは異なることがあります。



- ①平成26年4月より実施した入園料金改定(値上げ)及び新施設の導入効果などにより売上高の前年比は、平成27年3月期4月度から9月度まで全て115%以上で推移
- ②お客様に入園料金改定(値上げ)が受け入れられ、入園者数の大幅な増加を達成！

新施設のご紹介

平成26年7月19日に、伊豆シャボテン公園では「カピバラ虹の広場」、伊豆ぐらんぱる公園では「ジップライン～風KAZE～」がそれぞれオープンいたしました。



伊豆シャボテン公園の新施設「カピバラ虹の広場」

- カピバラとのふれあい、ワークショップやカピバラのエサあげ体験など様々な体験が可能
- 最大の魅力は「カピバラの噴水」で、夏には子供たちがカピバラと一緒に水遊びができ、冬にはメキシコのチムニーストーブを設置
- 七面鳥などカピバラ以外の動物も共生



伊豆ぐらんぱる公園の新施設「ジップライン～風KAZE～」



- 東海エリアでは最長となる180mの空中滑走が可能
- 高さは地上6メートル、滑走の速さは時速25kmから時速30km
- ヘルメット、プーリーやハーネスなどの装備は当園で無料貸出



今後も新規設備投資や老朽化した施設・設備の修繕、リニューアルなどを行い更なる運営施設の全般的な魅力向上を実現！

※本書は、株主様の議決権の行使について、当社または第三者に代理させることを勧誘するものではありません。

ご挨拶

平素は、ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社ならびに当社子会社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「過去からの脱却」を目指しております。

過去において、当社グループは、リーマンショックや東日本大震災などの外部要因だけではなく、当時の経営者の不祥事等もあり、長年にわたり大幅な赤字経営が続き、厳しい経営環境にありました。

このような状況下で、レジャー事業に経営資源を集中させる事業ポートフォリオの変更を行い、主力事業と定めたレジャー事業において、平成22年9月30日に毎年5,000万円強の営業赤字となっていた山手スピチュアルホテルを閉鎖し、一般的な経費削減により年間約1億円の経費削減を実施いたしました。また、マーケティング戦略の見直しを行い、伊豆シャボテン公園「元祖カピバラの露天風呂30周年」などに代表される数々の成功事例を実現するなど様々な経営改革を断行しました。

その結果、当社グループは、経営成績では平成24年3月期決算には6年ぶりの経常利益及び当期純利益の黒字化、平成25年3月期決算には7年ぶりの営業利益の黒字化、また平成26年3月期決算には13年ぶりの2期連続営業利益の黒字化及び3期連続当期純利益の黒字化を達成いたしました。

現在では、皆様方の温かいご支援・ご協力のおかげで、構造的赤字から脱却し「企業再生フェーズ」から「再成長フェーズ」に移行することができ、一層の飛躍のため、新たな成長戦略を策定し、全社的な改革・改善に取り組んでおります。

当社子会社である伊豆シャボテン公園グループについては、「伊豆半島最大のテーマパークづくり」や「年間入園者数200万人」を目標として、夜間営業の開始、システム投資及び各運営施設の全般的な魅力向上（魅力的な運営施設への改善、イベントの拡充、物販の拡充、接遇などサービスレベルの向上、効果的な宣伝広告の実施）を重点施策としたさらなる経営努力を通じて、より魅力ある施設にしていきたいと思います。

今後も当社グループは、より一層の社会的な信頼・信用の向上を図るべく、当社の中核事業でありますレジャー事業の更なる収益力の強化、最適な事業ポートフォリオの構築、コンプライアンスや安全管理の徹底など内部管理体制の充実に図り、引き続き一歩ずつ着実な歩みを続ける事業経営を展開してまいります。

中長期的な視野にたって企業価値の最大化、株主価値の最大化を成し遂げ、個人の能力を最大限に活かし、自然と人の共生を通じて、心の豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。

そのため役員・社員一同が総力をあげ、全社一丸となり、経営に取り組む所存でございますので、株主様をはじめとした皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社
代表取締役社長 小松 裕介

コーポレートデータ

会社概要

(平成26年9月30日現在)

社名	ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社 Social Ecology Project Co.,Ltd.
設立年月日	昭和51年1月24日
本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山1-11-45
資本金	455百万円
従業員数	7名
主要連結子会社	株式会社サボテンパークアンドリゾート 株式会社伊豆四季の花・海洋公園 (テーマパーク等の運営) 株式会社FLACOCO (テレビCMの企画・制作)

役員体制

役職名	氏名
代表取締役社長	小 松 裕 介
取 締 役	浅 利 睦 男
取 締 役	高 木 章
監 査 役	大 月 将 幸
社 外 監 査 役	大 箸 郁 夫
社 外 監 査 役	戸 谷 勝 壽

株主メモ

●事業年度の末日	3月31日	●公告方法	電子公告により行う（電子公告が行えない場合は日本経済新聞に掲載する）
●1単元の株式数	100株	●株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
●上場証券取引所	東京証券取引所(ジャスダック市場)	●同事務取扱所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11
●証券コード	6819 (JASDAQ)		
●監査法人	KDA監査法人		